

## レンタル移籍ニュースレター

February, 2022

ローンディールは、企業間レンタル移籍（大企業から一定期間ベンチャーへ行くプログラム）をはじめ、組織で働く人材の越境学習をサポートする様々な取り組みを行っています。ニュースレターでは、働き方や企業・組織のあり方を考えるきっかけとなる情報を配信してまいります！

## #STAFF COLUMN

ローンディールのスタッフが事業を通じて見聞きし、考えたことや感じたこと



## 組織が変わるって何だろう

はじめまして、プロジェクトマネージャーの笠間です。大企業・ベンチャー企業の窓口や、プロジェクトの責任者をしています。

前職では5千人規模の会社で、制度企画、異動・評価・育成の実務を担当していました。その中で組織や階層の壁をリアルに見てきたことで、対話できる場の必要性を感じ、今は、そうした場づくりを行っていく、ワークショップ、ファシリテーション、コーチングなどを学んでいます。

突然ですが、「組織が変わる」って、具体的にどういうことだと思いますか？

様々な観点があると思いますが、たとえば、風土改革、組織構造や制度による変化などを思い浮かべる人も多いかもしれません。

私なりの答えは「メンバー1人1人の行動が変わること」です。起点となる1人の覚醒から、まず1人、加えて1人と変わっていき、どこかのタイミングでオセロが黒から白に反転するように一気に変化するイメージを持っています。

よく大企業の方から「経営層からトップダウンでないと、当社は変わらないと思います」という声を聞きますが、ボトムアップで変えられることが絶対ある！と私は強く信じています。

私たちローンディールは、組織や人の可能性を広げることに思いを持っているメンバーばかりです。そうした背景から、レンタル移籍終了後も、何をどう伝えれば仲間の心を動かせるか、一緒に考え方抜き、対話の場づくりも一緒にしています。その他、マネジメントや新規事業開発に繋げていくプログラムにも力を入れています。

ぜひ、こうしてコラムを読んでくださっている皆様と一緒に、変化を生んでいたらとても嬉しいです！お気軽にご相談ください。

## #EVENT

3月に開催するイベント情報

3月2日＆16日 19:00～21:30  
モヤモヤにケリをつける「WILL発掘ワークショップ」

定期的に、組織で働く個人に向けた、自分自身のミッション・ビジョンを、情熱を持って語れるようになるための「WILL発掘ワークショップ」を開催しています。

不確実性が高く、変化の激しい荒波の時代には、立ち止まることなく進む方向を決めることができる「人生的羅針盤」が必要です。それを私たちは「MY WILL」と表現し、Value・Mission・Visionに分解して構造化し、さらに物語として語ることを薦めています。

WILLを通して、組織や会社との関係性が明確になることで、今の仕事への主体性が高まり、より生き生きと挑戦することができるようになることを期待しています。

今回は個人向けワークショップのご案内ですが、これまで教育機関や企業でもワークショップを実施しています。ご希望がありましたら、ぜひお問い合わせください。

[申込みはこちら](#)

## #STORY

「&LoanDEAL」最近の記事を紹介



もがき続けてたどり着いた

「なんでもやれるかも」という境地

大和ライフネクスト株式会社 星 雄太さん

大和ライフネクスト株式会社で働く星雄太さんは、新産業共創スタジオの事業開発や新産業プロジェクトの運営・推進を行う、SUNDRED株式会社へレンタル移籍しました。

ベンチャーという地に越境したことで身につけたものとして、「仮説を立てて質問する力」「自分の判断基準を持って選択する力」などを挙げてくれましたが、なによりも、「自分にはできないと思っていたけど、全力でやればなんとかなる」という経験が、星さんを強くしてくれたといいます。

経済産業省関東経済産業局と共に開催した、延べ参加者3000人規模のイベントのプロジェクトマネジメントを経験した星さん。はじめてのことに不安を持ちながらも必死で行動していました。「正直、最初は絶対無理だと思っていた」とのこと。しかし仲間と共に全力でやりぬくことができました。

できないかもしれない。それでもやってみよう。  
そうやってもがき続けたからこそ、「なんでもやれるかもしれない！」という境地にたどり着いたのでした――。

続きを読むはぜひ記事よりご覧ください。

[記事はこちら](#)

## #NEWS

レンタル移籍にまつわる注目ニュースをお届けします



ソーシャルビジネス&NPOで奮闘するレンタル移籍者が増加！社会的価値と経済的価値の両立を実践で経験

昨年からNPOやソーシャルビジネスを行う企業/団体へのレンタル移籍が増えています。このような動きは、世界的なパンデミックやESG投資などを背景に、企業で働く人の社会課題に対する関心の高まりを反映したものと考えています。

企業側の期待は、「これまでと全く異なる業種や文化の中で経験を積ませたい」「自社で今後、社会課題解決に資する新サービスを検討しており、経済的価値と社会的価値が成立する事業スキルを獲得したい」などがあげられます。

また、実際に移籍した方は「企業は社会の中にある、という当たり前のことに気づいた。」「社会課題解決の『正解』はない」「物事の一侧面だけでなく全体のライフサイクルをとらえる視点を得られた」といった声があがっています。また、ソーシャルビジネスやNPOに参画することで、移籍後も社会課題に対する関心が維持される傾向が強く、会社の先に社会を見据えて業務に取り組む姿が見られます。

最新情報はホームページをご覧ください  
<https://loanddeal.jp/>

ひとりの挑戦が、あなたを変える

LoanDEAL copyright, 2022

今すぐ無料でEメールを送信

HubSpot